

理事長就任・退任のごあいさつ

柏戸 正英 理事長は4月7日をもって退任し、後任として永嶋 嘉嗣 監事が4月8日付けで就任しました。

就任のごあいさつ

理事長 永嶋 嘉嗣

事業主、被保険者並びにご家族の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、組合会議員の任期満了に伴う改選にあたり、柏戸理事長の後任として理事長をお引受けすることになりました。誠に微力ではございますが、健康保険組合の健全な発展に精一杯努力いたす所存でございます。

さて、現在の健康保険組合制度につきましても、急速な高齢化の進展や医療技術の発達、高額薬剤の保険適用などにより医療費は年々増加しております。

一方、医療保険を支える現役世代の人口は減少傾向にあるにもかかわらず、高齢者医療への拠出金にかかる負担は年々増大し、健康保険組合の財政を大きく圧迫しております。このような中、政府は「人生100年時代」を見据えて、増え続ける社会保障費に対応するため、「全世代型社会保障制度」の構築に向けた方針を掲げ、高齢者の雇用拡大や疾病予防・健康づくりによる健康寿命の延伸等の取り組みを

進めることとしておりますが、高齢者の窓口負担や給付の見直しなどの議論は足踏み状態にあります。

当健康保険組合においても、団塊の世代が全て75歳以上となる「2025年」が迫り、納付金、医療費の増高により、急速に収支状況が悪化し、来年度以降も財政的に大変厳しい状況が予想されております。

当健康保険組合は、昭和28年11月の設立から、幾たびかの厳しい状況に見舞われながらも、今日まで堅実に運営されてまいりました。

これはひとえに歴代理事長をはじめ、理事議員各位のご努力、事業主、被保険者並びに被扶養者の皆さまのご理解とご協力の賜物と、改めてお礼申し上げますとともに、健康保険組合の使命であります被保険者とご家族の皆さまの健康の保持・増進や各種事業のいっそうの充実に努めてまいる所存でございます。

今後とも皆さま方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退任のごあいさつ

前理事長 柏戸 正英

このたび、千葉県医業健康保険組合の理事長を退任いたしました。顧みますと、平成16年4月に当健康保険組合の理事長を仰せつかり18年務めてまいりました。

事業主、被保険者並びに被扶養者の皆さまには、多大なるご理解とご協力をいただき、つががなく理事長の重責を全うできましたこと、厚くお礼申し上げます。

この間、国民の健康寿命の延伸を目指すデータヘルス計画の実施、その他医療費の効率化のため、種々の医療保険制度改革がありました。健康保険組合を取り巻く情勢は、高齢者医療への拠出金負担が年々増加し、健康保険組合の財政にとつては過重な負担が強いられることとなり、保険料の引上げや各種保健事業の見直しなど大変厳しい運営を余儀なくされました。

これらは、少子高齢化の進展に伴って、国内の人口構成が変化してきたことなどにより保険料収入と保険給付費、納付金の収支バランスが悪化をたどったことによるものです。

このような厳しい状況ではござい

ましたが、疾病予防事業なども含め被保険者、被扶養者の皆さまの健康保持増進に取り組んできたところでございます。

今後は、さらに厳しい組合運営を強いられることが予想されますが、永嶋新理事長のもと必ずやこの難局を乗り越えるものと確信しております。

今後、更なる発展に向け、私同様に新理事長にも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。